

平成25年度給水装置工事主任技術者 解答試案

学科試験 1

■ 公衆衛生概論

問題番号	No. 1	No. 2	No. 3
解答番号	3	3	3

■ 水道行政

問題番号	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10
解答番号	2	2	4	3	3	1	4

■ 給水装置工事法

問題番号	No. 11	No. 12	No. 13	No. 14	No. 15	No. 16	No. 17	No. 18	No. 19	No. 20
解答番号	3	2	2	2	1	4	2	2	3	3

■ 構造及び材質

問題番号	No. 21	No. 22	No. 23	No. 24	No. 25	No. 26	No. 27	No. 28	No. 29	No. 30
解答番号	1	2	4	4	1	4	1	1	3	4

■ 計画論

問題番号	No. 31	No. 32	No. 33	No. 34	No. 35
解答番号	1	3	1	4	3

■ 工事事務論

問題番号	No. 36	No. 37	No. 38	No. 39	No. 40
解答番号	2	1	1	4	4

学科試験 2

■ 給水装置の概要

問題番号	No. 41	No. 42	No. 43	No. 44	No. 45	No. 46	No. 47	No. 48	No. 49	No. 50
解答番号	4	1	4	3	2	4	3	4	2	2

■ 施工管理法

問題番号	No. 51	No. 52	No. 53	No. 54	No. 55	No. 56	No. 57	No. 58	No. 59	No. 60
解答番号	3	1	3	3	4	2	2	1	1	2

■ 合格基準

- 1) 学科試験 1～2 全部の受験者 次の①～③全部を満たすこと。
 - ①全 8 科目の総得点が40点以上
 - ②学科試験 1 の合計点が27点以上
 - ③各科目の得点が、それぞれ次に示す点以上
 「公衆衛生概論」1点、「水道行政」3点、「給水装置工事法」4点、「給水装置の構造及び性能」4点、「給水装置計画論」2点、「給水装置工事事務論」2点、「給水装置の概要」4点、「給水装置施工管理法」4点
- 2) 学科試験 2 が免除の受験者 次の①～②の両方を満たすこと。
 - ①学科試験 1 の合計点が27点以上
 - ②各科目の得点が、それぞれ次に示す点以上
 「公衆衛生概論」1点、「水道行政」3点、「給水装置工事法」4点、「給水装置の構造及び性能」4点、「給水装置計画論」2点、「給水装置工事事務論」2点



技術検定研修協会

仙台市青葉区二日町13-22 カルコス仙台ビル306

TEL.022(346)6251

FAX.022(266)0868

平成25年度給水装置 解答と解説（試案）

学科試験 |

■公衆衛生概論

【問題 1】 正解（3）

鉛は、PH値が強い水ほど溶けやすい性質がある。

【問題 2】 正解（3）

水道施設のフローシートは、次のとおりである。

取水施設→導水施設→送水施設→配水施設

【問題 3】 正解（3）

D P D 試薬と反応する桃赤色を標準比色液と比較する。

■水道行政

【問題 4】 正解（2）

水道メータは、給水装置に該当する。

【問題 5】 正解（2）

水道事業者ごとに定められるものではない。

【問題 6】 正解（4）

ア(誤) イ(正) ウ(正) エ(正)
検査は1日1回行うこととされている。

【問題 7】 正解（3）

供給規程は、実施の日までに一般に周知させる措置をとらなければならない。

【問題 8】 正解（3）

水道法第15条第1項により不相当。

【問題 9】 正解（1）

水道事業者は、自ら水道技術管理者とすることができる。

【問題 10】 正解（4）

このような職務は定められていない。

■給水装置工事法

【問題 11】 正解（3）

ウ→イ→エ→ア

【問題 12】 正解（2）

ア、エが適当。
イ→耐圧試験は省略できない。
ウ→「主たる給水用具から放流」ではなく、「各給水用具からそれぞれ放流」。よって適当なものの数は（2）。

【問題 13】 正解（2）

ア(1.2) イ(0.3) ウ(0.6)

【問題 14】 正解（2）

イ、ウが不相当。白色テープは工業用水管である。止水栓は水道メータの上流。

【問題 15】 正解（1）

サドル分水栓を取り付ける前に、弁体が全開状態になっているかを確認する。

【問題 16】 正解（4）

（1）～（4）適当。

【問題 17】 正解（2）

最終の止水機構の流出側の給水用具は除かれている。

【問題 18】 正解（2）

空気弁を設置する。

【問題 19】 正解（3）

ア(正) イ(誤) ウ(正) エ(正)

【問題 20】 正解（3）

管用平行ねじは定められていない。

■給水装置の構造及び性能

【問題 21】 正解（1）

【問題 22】 正解（2）

適用対象が限定されている。

【問題 23】 正解（4）

【問題 24】 正解（4）

すべて、この性能基準を満たさなければならないわけではない。

【問題 25】 正解（1）

ア(正) イ(誤) ウ(誤) エ(正)

【問題 26】 正解（4）

ア(誤) イ(誤) ウ(正) エ(正)

【問題 27】 正解（1）

エが適当。

【問題 28】 正解（1）

（1）はクロスコネクションとなる。

【問題 29】 正解（3）

吐水口空間は200mm未満であってはならない。

【問題 30】 正解(4)

鳥居配管やU字形配管は、できるだけ避けなければならない。

■給水装置計画論

【問題 31】 正解(1)

ア(誤) イ(正) ウ(正) エ(正)

【問題 32】 正解(3)

直結増圧式給水にあたっては、同時使用水量を適正に設定する。

【問題 33】 正解(1)

図-1、図-2より1.0m

【問題 34】 正解(4)

同時使用水量 = $\frac{\text{給水用具の全使用水量}}{\text{給水用具総数} \times \text{使用水量比}}$
より求めると、(4)250(L/分)となる。

【問題 35】 正解(3)

図-2より求めると、給水管口径は、25[mm]となる。

■給水装置工事事務論

【問題 36】 正解(2)

ア(適当) イ(不適当) ウ(不適当)
エ(適当)

【問題 37】 正解(1)

イ(誤)主任技術者の職務とはならない。
ウ(誤)主任技術者以外の者が記録してもよい。

【問題 38】 正解(1)

ア(正) イ(誤) ウ(正) エ(正)

【問題 39】 正解(4)

給水栓は、逆流防止性能は必要とされない。

【問題 40】 正解(4)

(4)主任技術者としては適切な対応である。

学科試験 II

■給水装置の概要

【問題 41】 正解(4)

指定給水装置工事業者は水道事業者によって指定される。

【問題 42】 正解(1)

ア(正) イ(正) ウ(誤) エ(正)

【問題 43】 正解(4)

(4)がア、イ、ウ、エの組合わせである。

【問題 44】 正解(3)

ア(誤) イ(正) ウ(正) エ(誤)

【問題 45】 正解(2)

ア(正) イ(誤) ウ(誤) エ(正)

【問題 46】 正解(4)

(4)の組合わせが適当である。

【問題 47】 正解(3)

(3)浄水器と水栓が一体として製造・販売されるものは、給水用具に該当する。

【問題 48】 正解(4)

(4)の組合わせが適当である。

【問題 49】 正解(2)

アとエが不適当である。

【問題 50】 正解(2)

(2)の組合わせが適当である。

■給水装置施工管理法

【問題 51】 正解(3)

アのみ不適当である。

【問題 52】 正解(1)

(1)のア、イ、ウが適当である。

【問題 53】 正解(3)

バーチャート工程表も併用される。

【問題 54】 正解(3)

(3)の組合わせが適当である。

【問題 55】 正解(4)

(4)の組合わせが適当である。

【問題 56】 正解(2)

実務経験は1年以上あれば良い。

【問題 57】 正解(2)

(2)の組合わせが適当である。

【問題 58】 正解(1)

地山の掘削では、2m以上は作業主任者を選任しなければならない。

【問題 59】 正解(1)

労働安全衛生法に定めるところにより、事業者は作業の区分に応じて作業主任者を選任する。

【問題 60】 正解(2)

給水タンクの内部には、飲料水の配管設備しか設けてはならない。